

「協働の時代における新たな公民館活動について」の審議状況

- 平成 24 年 3 月 29 日（木）……平成 23 年度第 3 回箕輪町公民館運営審議会
・「協働の時代における新たな公民館活動について」諮問
- 平成 24 年 6 月 1 日（金）……平成 24 年度第 1 回箕輪町公民館運営審議会
・今後の箕輪町公民館の在り方・役割等協議
- 平成 24 年 7 月 10 日（火）……平成 24 年度第 2 回箕輪町公民館運営審議会
・公民館設立の経緯及び公民館の役割、分館活動について
・公民館に関するアンケートについて検討
- 平成 24 年 8 月 21 日（火）……平成 24 年度第 3 回箕輪町公民館運営審議会
・公民館に関するアンケート（原案）について検討
- 平成 24 年 9 月 25 日（火）……平成 24 年度第 4 回箕輪町公民館運営審議会
・アンケート内容、視察についての検討
- 平成 24 年 10 月 24 日（水）……平成 24 年度第 5 回箕輪町公民館運営審議会
・アンケートの検討
- 平成 24 年 11 月 20 日（火）……平成 24 年度第 6 回箕輪町公民館運営審議会
・視察について検討
- 平成 24 年 11 月 30 日（金）……飯田市松尾公民館視察
・飯田市公民館の取組について視察
- 平成 25 年 1 月 29 日（火）……平成 24 年度第 7 回箕輪町公民館運営審議会
・今後の箕輪町公民館の在り方について
- 平成 25 年 2 月 17 日（土）……平成 24 年度第 8 回箕輪町公民館運営審議会
・飯田市公民館大会視察
- 平成 25 年 2 月 26 日（火）……平成 24 年度第 9 回箕輪町公民館運営審議会
・今後の箕輪町公民館の在り方について
・アンケートの検討

平成 25 年 3 月 29 日（金） ……平成 24 年度第 10 回箕輪町公民館運営審議会

- ・ 今後の箕輪町公民館の在り方について
- ・ アンケートについて

平成 25 年 6 月 ……公民館アンケート実施

- ・ 町内在住の 20 歳から 80 歳代の男女 2,000 人を抽出。
- ・ 有効回答 760 人、回答率 38.0%。

平成 25 年 7 月 18 日（木） ……平成 25 年度第 1 回箕輪町公民館運営審議会

- ・ 今後の箕輪町公民館の在り方について

平成 25 年 8 月 20 日（木） ……平成 25 年度第 2 回箕輪町公民館運営審議会

- ・ アンケート結果について

平成 25 年 9 月 25 日（水） ……平成 25 年度第 3 回箕輪町公民館運営審議会

- ・ アンケート結果について委員による検討

平成 25 年 11 月 12 日（火） ……平成 25 年度第 4 回箕輪町公民館運営審議会

- ・ アンケート結果について委員による検討
（年代別・地区別集計）

平成 25 年 12 月 16 日（月） ……平成 25 年度第 5 回箕輪町公民館運営審議会

- ・ 今後の箕輪町公民館の在り方について

平成 26 年 1 月 28 日（火） ……平成 25 年度第 6 回箕輪町公民館運営審議会

- ・ 今後の箕輪町公民館の在り方について

平成 26 年 2 月 25 日（火） ……平成 25 年度第 7 回箕輪町公民館運営審議会

- ・ 今後の箕輪町公民館の在り方について

平成 26 年 3 月 24 日（月）、25 日（火） ……平成 25 年度第 8 回箕輪町公民館運営審議会

- ・ 長野県高山村、青木村公民館視察

平成 26 年 4 月 17 日（木） ……大出分館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 4 月 18 日（金） ……南小河内分館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 4 月 20 日（日） ……八乙女分館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 4 月 21 日（月） ……木下地区館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 4 月 22 日（火） ……平成 26 年度第 1 回箕輪町公民館運営審議会
・ 今後の箕輪町公民館の在り方について
・ 地区館、分館と公民館運営審議会との懇談会について

平成 26 年 4 月 23 日（水） ……長岡分館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 4 月 24 日（木） ……福与分館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 4 月 25 日（金） ……下古田分館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 4 月 25 日（金） ……富田分館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 4 月 26 日（土） ……松島分館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 4 月 26 日（土） ……中原分館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 4 月 27 日（日） ……北小河内分館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 5 月 13 日（火） ……上古田分館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 5 月 13 日（火） ……三日町分館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 5 月 17 日（土） ……中曽根地区館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 5 月 21 日（水） ……沢分館と公民館運営審議会との懇談会

平成 26 年 5 月 29 日（木） ……平成 26 年度第 2 回箕輪町公民館運営審議会
・ 今後の箕輪町公民館の在り方について
・ 答申（案）について

平成 26 年 6 月 27 日（金） ……平成 26 年度第 3 回箕輪町公民館運営審議会

- ・ 今後の箕輪町公民館の在り方について
- ・ 答申（案）について

平成 26 年 7 月 16 日（水） ……平成 26 年度第 4 回箕輪町公民館運営審議会

- ・ 今後の箕輪町公民館の在り方について
- ・ 答申（案）について

箕輪町公民館運営審議会委員

委員長	吉崎 進	学識経験者	平成 23 年 4 月 1 日～
副委員長	小林ふさ子	学識経験者	平成 23 年 4 月 1 日～
	荻原かほり	箕輪町議会	平成 23 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日
	唐澤 千洋	箕輪町議会	平成 25 年 4 月 1 日～
	関谷 圭史	学校長会	平成 23 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日
	宮下 徳雄	学校長会	平成 25 年 4 月 1 日～
	中澤 清明	正副分館長会長	平成 24 年 3 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日
	中村 廣	正副分館長会長	平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日
	漆戸 正	正副分館長会長	平成 26 年 3 月 1 日～
	井上 孝行	学識経験者	平成 23 年 4 月 1 日～
	荻原 弥生	学識経験者	平成 23 年 4 月 1 日～
	唐澤 春子	学識経験者	平成 23 年 4 月 1 日～
	唐澤 弘光	学識経験者	平成 23 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日
	竹花 正道	学識経験者	平成 23 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日
	白鳥 紀子	学識経験者	平成 25 年 4 月 1 日から
	原 健児	学識経験者	平成 25 年 4 月 1 日から

箕輪町公民館アンケート結果について

～事務局レベルでのアンケート結果に対する感想～

○アンケート調査における回答率等について

町内在住の20歳から80歳代の男女2,000人を抽出し、アンケート調査を依頼した。その結果、有効回答が760人、38.0%の回答率であった。また自由筆記欄にも多くの記述が寄せられこのアンケート調査に対する住民の回答意識の高さが伺える。

回答率については、町公民館で予想していたよりも多くの回答が寄せられ、回答率38.0%については、概ね良好と言える。

回答者の年代別、男女別を分析すると、やはり、20代の回答率が低く、年代が進むにつれて回答率が高くなり、60代の回答率が最大で、回答率に占めるこの年代の割合は25.4%、このアンケート調査送付者に対する返答率は、46.2%の返答率であった。但し、80代になるとやはり設問も多く文字の記述等に苦慮したのか回答率が低かった。

また、男女別の回答率は、男が43.7%、女が49.1%と女性の回答率が5.4%男性を上回っている。

なお、地区別回答率については、アンケート配布時と同じように各地区、人口比率に応じての回答率となっている。

○アンケート内容について

過去、「箕輪町公民館」に対する住民の意識調査を実施したことがなく、今回は箕輪町公民館運営審議会で今後の公民館の方向性を探る上でも、意見聴取してみたいという意見も上がり、実施に至った。

「箕輪町公民館の存在の認知度」の設問から、「各種講座への参加の有無」、「各種講座への参加意向」、「文化祭への参加、見学の有無」、「分館行事への参加の有無」、「分館役員に推薦されたらどうするか」など多岐に渡る設問を設定し回答して頂いている。

「箕輪町公民館が文化センター内にあることを知っているか」という設問に対しては、58.2%が「知っている」、40.9%が「知らない」という回答結果であった。

また、「利用したことがあるか」という設問に対しては、36.2%が「ある」、「ない」は、62.9%に上った。利用者の多くは「講座、イベント」への参加であり、「ない」と答えた方の理由については、「存在を知らない」が51.0%、「魅力がない」が10.9%と

いう結果であり、「講座、イベント等が必要な方、興味のある方」には認知度、利用度も高いが、若年層を含めて「講座、イベント等、生活していく上で特段、必要を感じていない方」においては、認知度、利用についても少ないし、利用もないという結果だと考える。

以下、各種講座開催の意向設問においても、同様の結果が見られ、「生活において必要な方」には、講座、イベント等が必要で、「必要のない方」においては、興味も関心も少ないという結果であった。

また、講座、イベント等を「知らない」という回答も多かった。公民館では新聞、広報誌、チラシ、HP、告知放送等、各種媒体を使い、大きなイベントには、保育園、学校の子どもたちに折込みも行っているが、その告知の仕方については、再検討する必要がある。ただ、各種講座への参加希望の回答に寄せられたように、「必要」と思われる方は、新聞等の告知を見て応募頂いている現状から、「興味や関心ない、または必要としない方」については、そもそも告知が目にとまらないものと思われる。

なお、展開される町公民館の各種講座は、受付と同時に常に満杯となっており、その実施内容については、現在のニーズに適合した講座展開と言えるのではないかと考える。

分館に関する設問においては、「分館行事に参加している」と答えた方が、48.9%に上り、町公民館で開催される行事よりも、やはり地域密着型の分館行事への参加率が非常に高い結果となった。このことは、今後の公民館の方向性を探る上でも非常に重要な結果だと考える。

最後に、「箕輪町公民館、箕輪町公民館の講座、文化祭、大先輩事業などあなたにとって必要ですか」との問いに対して、「必要」と答えた方が、49.6%、「必要ない」と答えた方が14.9%であり、過半数の人が「必要」と答えている現状であり、その意向を尊重し今後の箕輪町公民館の展開を図るべきと考える。

この結果を参考に、現在、「箕輪町公民館運営審議会」では、「今後の町公民館のあり方、役割等」を検討している。

箕輪町公民館に関するアンケート調査票

該当する所に○をお願いします。

【年齢】 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代

【性別】 男性 女性

【地区】 沢 大出 八乙女 下古田 上古田 富田 中原 中曽根
松島 木下 三日町 福与 長岡 南小河内 北小河内

「箕輪町公民館」について、おたずねします。

1. あなたは、町文化センター内に「箕輪町公民館」があることを知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 知っている 2. 知らない

2. あなたは、これまでに「箕輪町公民館」を利用したことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. ある 2. ない

3. 設問2で「1. ある」と答えた方におたずねします。「箕輪町公民館」を利用したのは、次のどの内容になりますか。また、どれくらいの回数になりますか。

【利用した理由】 あてはまるもの全てに○をつけてください

1. 町公民館が主催する講座及びイベント 2. チラシ、パンフレット等の情報収集

3. その他【 】

【利用回数】 あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 1年に1回くらい 2. 1年に3回くらい 3. 1年に5回くらい

4. 1年に10回くらい 5. 1年に11回以上

④ 庭木剪定講座（3日間）

1. 参加したことがある
2. 講座があることを知らなかった
3. 交通手段がなくて行けなかった
4. 参加したかったが仕事の都合や日程の関係で行けなかった
5. 自分には必要ない

⑤ 日常生活に必要な技術・知識に関する講座（1日間）

【例：整理整頓講座・保険と家計の見直し法・終活セミナーなど】

1. 参加したことがある
2. 講座があることを知らなかった
3. 交通手段がなくて行けなかった
4. 参加したかったが仕事の都合や日程の関係で行けなかった
5. 自分には必要ない

⑥ 趣味に関する講座（1日間）

【例：布草履制作体験講座・ガラスアート講座・フレームドライフラワー教室など】

1. 参加したことがある
2. 講座があることを知らなかった
3. 交通手段がなくて行けなかった
4. 参加したかったが仕事の都合や日程の関係で行けなかった
5. 自分には必要ない

⑦ 食に関する講座（1日間）

【例：おしゃれな寒天クッキング・珈琲の美味しい淹れ方など】

1. 参加したことがある
2. 講座があることを知らなかった
3. 交通手段がなくて行けなかった
4. 参加したかったが仕事の都合や日程の関係で行けなかった
5. 自分には必要ない

⑧ 地元の自然に関する講座（1日間）

【例：山野草初心者入門講座など】

1. 参加したことがある
2. 講座があることを知らなかった
3. 交通手段がなくて行けなかった
4. 参加したかったが仕事の都合や日程の関係で行けなかった

5. 自分には必要ない

⑨ 子ども向け講座

例：三館まつり（ソーラーカー教室・竹馬竹とんぼ作り・絵手紙体験・まが玉作り・
バルーンアートショーなど）
冬あそびイベント（和風作り・羽子板作り・お手玉作り・ガラスアート体験・
パネルシアター上映など）

1. 参加させたことがある
2. 講座があることを知らなかった
3. 交通手段がなくて行けなかった
4. 参加させたかったが家の都合や日程の関係で行けなかった
5. 家の子どもには必要ない

《25年度 新規計画講座》

① つるし雛制作教室（5ヶ月10回） つるし雛を12体制作（文化祭出品予定）

1. 是非参加したい
2. 出来れば参加したい
3. 参加したいが交通手段がなくて行けない
4. 参加したいが仕事の都合や日程の関係で無理である
5. 参加しない

② 刻字講座（3ヶ月7回） 桂の板に文字を彫刻 表札作り（文化祭出品予定）

1. 是非参加したい
2. 出来れば参加したい
3. 参加したいが交通手段がなくて行けない
4. 参加したいが仕事の都合や日程の関係で無理である
5. 参加しない

③ ラジオ体操健康法とリンパセラピーのコラボ講座（2ヶ月3回）
正しいラジオ体操を身につけ、リンパ液の流れやすい身体づくり

1. 是非参加したい
2. 出来れば参加したい
3. 参加したいが交通手段がなくて行けない
4. 参加したいが仕事の都合や日程の関係で無理である
5. 参加しない

④ パソコン 初めの一步講座（1ヶ月6回） 超初心者向け

1. 是非参加したい
2. 出来れば参加したい
3. 参加したいが交通手段がなくて行けない
4. 参加したいが仕事の都合や日程の関係で無理である
5. 参加しない

⑤ 夏休み子ども体験塾 みのわっ子クラブ（3日間）

1. 是非参加させたい
2. 出来れば参加させたい
3. 参加させたいが交通手段がなくて行けない
4. 参加させたいが家の都合や日程の関係で無理である
5. 参加させない

⑥ 大人のクラフトイベント in みのわ（3日間） ブースを回り多様なクラフトを体験

- ・竹細工・チョークアート・クレイクラフト・とんぼ玉・苔玉作り・お裁縫
- ・アロマクラフト・エコクラフト・トールペイント・カラーセラピーなど

1. 是非参加したい
2. 出来れば参加したい
3. 参加したいが交通手段がなくて行けない
4. 参加したいが仕事の都合や日程の関係で無理である
5. 参加しない

《今後の講座について》

① 地元の文化に関する講座【例：箕輪町の文化財講座・古田人形講座など】

1. 是非参加したい
2. 出来れば参加したい
3. 参加したいが交通手段がなくて行けない
4. 参加したいが仕事があり無理である
5. 参加しない

② 環境問題に関する講座【例：BDF（油リサイクル燃料）・エコ講座など】

1. 是非参加したい
2. 出来れば参加したい
3. 参加したいが交通手段がなくて行けない
4. 参加したいが仕事があり無理である

5. 参加しない

③ 行政に関する講座【例：町財政に関する講座・セーフコミュニティ講座など】

1. 是非参加したい 2. 出来れば参加したい

3. 参加したいが交通手段がなくて行けない 4. 参加したいが仕事があり無理である

5. 参加しない

④ その他希望する講座・参加したくなる講座がありましたら、ご自由にお書きください。

6. 箕輪町公民館では、毎年3月と5月に「文化講演会」を行っています

{	H24. 5月…	演 題	「かしわ餅の心」
		講 師	笑い療法士 城取茂美 先生
}	H25. 3月…	演 題	「地域の山は地域で守る 私たちができる取り組み」
		講 師	KOA株式会社 KOA森林塾事務局 松岡みどり さん

あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 今までに参加した事がある 2. 講演会がある事を知らなかった

3. 参加したかったが交通手段がなくて行けなかった

4. 参加したかったが仕事の都合や日程の関係で行けなかった

5. 参加した事がない

7. 毎年文化の日を中心に「みのわ町民文化祭」を行っています。それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

《音楽の広場について》

1. 見に行っている

2. 音楽の広場がある事を知らない

3. 見に行きたいが交通手段がなく行けない

4. 見に行った事がない

《芸能の広場について》

1. 見に行っている
2. 芸能の広場がある事を知らない
3. 見に行きたいが交通手段がなく行けない
4. 見に行った事がない

《展示の広場について》

1. 見に行っている
2. 展示の広場がある事を知らない
3. 見に行きたいが交通手段がなく行けない
4. 見に行った事がない

8. 「元気はつらつ大先輩事業」についておたずねします。それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

《現在》

1. 長寿クラブの会員として参加している
2. 70歳以上の一般として参加している
3. 事業の必要性を認めていないので参加しない
4. 参加資格はあるが参加していない
5. 参加資格がない

《将来》

1. 長寿クラブの会員として参加したい
2. 70歳以上の一般として参加したい
3. 活動内容に魅力がないので参加しない
4. 他の活動で十分に生きがいを感じており参加する必要を感じない
5. 事業の必要性を認めていないので参加しない

各区の公民館で、年3回の「出前講座」を実施しています。あてはまるもの一つに○をつけください。

1. 参加した事がある
2. 参加したかったが日程が合わなかった
3. 講座案内がなかったので知らなかった
4. 講座内容に魅力がないので参加しなかった
5. 参加するのが面倒

9. 公民館活動の目的とは次のうちどれだと思いますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 個人の生きがいづくり
2. 仲間づくり
3. 健康づくり
4. 学習・教養を高める
5. 地域のコミュニティの再生
6. 人材養成
7. その他 ()

10. これからの公民館に望みたい事をご自由にお書きください。

11. 「箕輪町公民館」及び「箕輪町公民館の講座や文化祭・元気はつらつ箕輪の大先輩事業」などは、あなたにとって必要だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 必要
2. どちらかといえば必要
3. 必要ではない
4. どちらかといえば必要でない
5. わからない

「分館の活動」について、おたずねします。

1. 各分館では区民全員を対象にした「◇運動会・ソフト・マレット◇納涼祭◇文化祭◇元気はつらつ出前講座」等色々なイベントを行っています。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. ほとんど参加している 2. できるだけ参加している
3. 都合がつけば参加している 4. ほとんど参加しない

2. 各分館では子どもたちを対象とした「◇どんど焼き◇鯉のぼりの掲揚◇お盆の子供広場◇運動会」等色々なイベントを行っています。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 参加している 2. 参加したことがない 3. 子どもが居ないのでわからない

3. あなたは分館の役員を経験したことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. ある 2. ない

4. 設問3 で「1. ある」と答えた方におたずねします。経験してみてどうでしたか。あてはまるもの一つに○をしてください。また、その理由をお聞かせください。

1. 引き受けて良かった 2. 引き受けなければ良かった 3. どちらとも言えない

その理由

--

5. 設問3 で「2. ない」と答えた方におたずねします。あなたが分館の役員に推薦されたらどうしますか。あてはまるもの一つに○をしてください。

1. 分館の活動は地域にとって必要であり喜んで引き受ける

2. あまりやりたくはないが推薦されれば引き受ける
3. ほかの理由をつけて辞退する
4. 分館の活動に必要なを感じていないので辞退する
5. その時にならなければわからない

最後に、「箕輪町公民館」や「分館」の在り方等について(組織・活動・その他)どんなことでも良いのでご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

箕輪町公民館アンケート 集計結果【単純集計】

調査票配布者数 2,000人 有効回答者数 760人 回答率 38.0 %

【年齢】

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答	計
回答数	38	106	127	143	193	140	5	8	760
回答率	5.0	13.9	16.7	18.8	25.4	18.4	0.7	1.1	100

【性別】

	男	女	無回答	計
回答数	332	373	55	760
回答率	43.7	49.1	7.2	100

【地区】

	沢	大出	八乙女	下古田	上古田	富田	中原
回答数	118	67	22	11	27	10	13
回答率	15.5	8.8	2.9	1.4	3.6	1.3	1.7

	中曽根	松島	木下	三日町	福与	長岡	南小河内
回答数	17	163	165	23	31	29	16
回答率	2.2	21.4	21.7	3.0	4.1	3.8	2.1

	北小河内	無回答	計
回答数	36	12	760
回答率	4.7	1.6	100

【問1】 町文化センター内に「箕輪町公民館」があることを知っていますか？

	知っている	知らない	無回答	計
回答数	442	311	7	760
回答率	58.2	40.9	0.9	100

【問2】 これまで「箕輪町公民館」を利用したことがありますか？

	ある	ない	無回答	計
回答数	275	478	7	760
回答率	36.2	62.9	0.9	100

【問3】 問2で「ある」と答えた方におたずねします。利用した内容は？

	講座イベント	チラシパンフの収集	その他	計
回答数	232	11	32	275
回答率	84.4	4.0	11.6	100

※その他意見 常会、神社総代会、サークル、分館として など

【利用回数】 その利用回数

	1回	3回	5回	10回	11回以上	無回答	計
回答数	123	64	29	18	24	17	275
回答率	44.7	23.3	10.5	6.5	8.7	6.2	100

【問4】 問2で「ない」と答えた方におたずねします。利用のない理由は？

	魅力がない	遠い	存在を知らない	その他	無回答	計
回答数	52	39	244	121	22	478
回答率	10.9	8.2	51.0	25.3	4.6	100

※その他意見 興味がない、忙しい、必要性がない、転入したばかりでわからない、介護する人がいるため無理など

H24事業について

【問5】① 年間定期講座（ふきはら大学、大学院、けやき学級、おやじ学級ふれあい学級）の参加の有無

	参加したことがある	講座を知らなかった	交通手段がなし	仕事の都合や日程的に無	自分には必要ない	無回答	計
回答数	21	207	16	132	320	64	760
回答率	2.8	27.2	2.1	17.4	42.1	8.4	100

【問5】② いきいきライフ講座 夜間（アロマヨガ・ちょこっとピラティス）の参加の有無

	参加したことがある	講座を知らなかった	交通手段がなし	仕事の都合や日程的に無	自分には必要ない	無回答	計
回答数	10	305	14	119	251	61	760
回答率	1.3	40.1	1.8	15.7	33.0	8.0	100

【問5】③ 陶芸講座の参加の有無

	参加したことがある	講座を知らなかった	交通手段がなし	仕事の都合や日程的に無	自分には必要ない	無回答	計
回答数	28	224	7	99	342	60	760
回答率	3.7	29.5	0.9	13.0	45.0	7.9	100

【問5】④ 庭木剪定講座の参加の有無

	参加したことがある	講座を知らなかった	交通手段がなし	仕事の都合や日程的に無	自分には必要ない	無回答	計
回答数	12	266	6	104	319	53	760
回答率	1.6	35.0	0.8	13.7	42.0	7.0	100

【問5】⑤ 日常生活に必要な講座(整理収納、保険と家計の見直し法、終活セミナーなど)の参加の有無

	参加したことがある	講座を知らなかった	交通手段がなし	仕事の都合や日程的に無	自分には必要ない	無回答	計
回答数	23	343	12	116	211	55	760
回答率	3.0	45.1	1.6	15.3	27.8	7.2	100

【問5】⑥ 趣味に関する講座(布草履、ガラスアート、フレームドライフラワーなど)の参加の有無

	参加したことがある	講座を知らなかった	交通手段がなし	仕事の都合や日程的に無	自分には必要ない	無回答	計
回答数	15	278	13	105	293	56	760
回答率	2.0	36.6	1.7	13.8	38.6	7.4	100

【問5】⑦ 食に関する講座(おしゃれな寒天クッキング、珈琲の美味しい淹れ方など)の参加の有無

	参加したことがある	講座を知らなかった	交通手段がなし	仕事の都合や日程的に無	自分には必要ない	無回答	計
回答数	7	325	11	125	233	59	760
回答率	0.9	42.8	1.4	16.4	30.7	7.8	100

【問5】⑧ 地元の自然に関する講座(山野草初心者入門など)

	参加したことがある	講座を知らなかった	交通手段がなし	仕事の都合や日程的に無	自分には必要ない	無回答	計
回答数	8	303	11	123	250	65	760
回答率	1.1	39.9	1.4	16.2	32.9	8.6	100

【問5】⑨ 子ども向け講座(三館まつり、冬あそびイベントなど)の参加の有無について

	参加したことがある	講座を知らなかった	交通手段がなし	仕事の都合や日程的に無	自分には必要ない	無回答	計
回答数	52	257	3	72	187	189	760
回答率	6.8	33.8	0.4	9.5	24.6	24.9	100

H25事業について

【問5】① つるし雛教室の参加の有無について

	是非参加したい	出来れば参加したい	交通手段がなし	仕事の都合や日程的に無	参加しない	無回答	計
回答数	10	50	5	90	546	59	760
回答率	1.3	6.6	0.7	11.8	71.8	7.8	100

【問5】② 刻字講座の参加の有無について

	是非参加したい	出来れば参加したい	交通手段がなし	仕事の都合や日程的に無	参加しない	無回答	計
回答数	6	63	5	73	558	55	760
回答率	0.8	8.3	0.7	9.6	73.4	7.2	100

【問5】③ ラジオ体操健康法とリンパセラピーのコラボ講座の参加の有無について

	是非参加したい	出来れば参加したい	交通手段がなし	仕事の都合や日程的に無	参加しない	無回答	計
回答数	25	152	10	117	415	41	760
回答率	3.3	20.0	1.3	15.4	54.6	5.4	100

【問5】④ パソコン初めの一步講座の参加間有無について

	是非参加した い	出来れば参 加したい	交通手段がな し	仕事の都合 や日程的に無	参加しない	無回答	計
回答数	22	103	8	87	495	45	760
回答率	2.9	13.6	1.1	11.4	65.1	5.9	100

【問5】⑤ 夏休み子ども体験塾 みのわっ子クラブへの参加の有無について

	是非参加した い	出来れば参 加したい	交通手段がな し	仕事の都合 や日程的に無	参加しない	無回答	計
回答数	15	85	3	84	261	312	760
回答率	2.0	11.2	0.4	11.1	34.3	41.1	100

【問5】⑥ 大人のクラフトイベントへの参加の有無について

	是非参加した い	出来れば参 加したい	交通手段がな し	仕事の都合 や日程的に無	参加しない	無回答	計
回答数	24	118	4	95	458	61	760
回答率	3.2	15.5	0.5	12.5	60.3	8.0	100

今後の講座について

【問5】⑦ 地元の文化に関する講座(文化財、古田人形など)

	是非参加した い	出来れば参 加したい	交通手段がな し	仕事の都合 や日程的に無	参加しない	無回答	計
回答数	14	132	4	94	464	52	760
回答率	1.8	17.4	0.5	12.4	61.1	6.8	100

【問5】⑧ 環境に関する講座(BDF、エコ講座)の参加の有無について

	是非参加した い	出来れば参 加したい	交通手段がな し	仕事の都合 や日程的に無	参加しない	無回答	計
回答数	10	162	8	131	354	95	760
回答率	1.3	21.3	1.1	17.2	46.6	12.5	100

【問5】⑨ 行政に関する講座(町財政、セーフコミュニティなど)の参加の有無について

	是非参加した い	出来れば参 加したい	交通手段がな い	仕事があり無 理	参加しない	無回答	計
回答数	11	116	6	86	447	94	760
回答率	1.4	15.3	0.8	11.3	58.8	12.4	100

【問5】10 その他希望する講座について(自由筆記)
ペン習字、ヨガ、バーベキュー講座、障害者が参加できる講座、ガーデニング、パッチワーク、健康講座など

【問6】 箕輪町公民館では、毎年3月・5月に「文化講演会」を行っているがその参加の有無

	参加したこと がある	知らなかった	交通手段がな い	仕事の都合 や日程的に無	参加したこと がない	無回答	計
回答数	56	173	4	63	435	29	760
回答率	7.4	22.8	0.5	8.3	57.2	3.8	100

みのわ町民文化祭について

【問7】① 音楽の広場について

	見に行ってる	音楽の広場を 知らない	交通手段がな い	見に行ったこ とがない	無回答	計
回答数	212	59	11	430	48	760
回答率	27.9	7.8	1.4	56.6	6.3	100

【問7】② 芸能の広場について

	見に行ってる	芸能の広場を 知らない	交通手段がな い	見に行ったこ とがない	無回答	計
回答数	176	56	6	461	61	760
回答率	23.2	7.4	0.8	60.7	8.0	100

【問7】③ 展示の広場について

	見に行ってる	展示の広場を 知らない	交通手段がな い	見に行ったこ とがない	無回答	計
回答数	325	40	4	341	50	760
回答率	42.8	5.3	0.5	44.9	6.6	100

「元気はつらつ箕輪の大先輩活動支援事業」について

【問8】① 現在について

	参加している	一般として参	必要性なし	参加してない	参加資格なし	無回答	計
回答数	53	16	14	84	520	73	760
回答率	7.0	2.1	1.8	11.1	68.4	9.6	100

【問8】② 将来について

	参加したい	一般として参	魅力がない	他で十分	必要性なし	無回答	計
回答数	82	162	58	170	74	214	760
回答率	10.8	21.3	7.6	22.4	9.7	28.2	100

【問8】③ 出前講座について

	参加したことがある	日程が合わなかった	案内がなく知らない	魅力なし	参加が面倒	無回答	計
回答数	85	87	254	62	139	133	760
回答率	11.2	11.4	33.4	8.2	18.3	17.5	100

【問9】 公民館の目的について **【複数回答】**

	生きがいづくり	仲間づくり	健康づくり	学習教養を高める	コミュニティ再生	人材育成	その他	無回答	計
回答数	246	292	234	203	211	58	5	60	1309
回答率	18.8	22.3	17.9	15.5	16.1	4.4	0.4	4.6	100

【問10】 これからの公民館について望むこと 自由筆記

別紙1

【問11】 箕輪町公民館、箕輪町公民館の講座、文化祭、大先輩事業などあなたにとって必要だと思いますか？

	必要	どちらかといえば必要	必要ではない	どちらかといえば必要ではない	わからない	無回答	計
回答数	150	227	37	76	234	36	760
回答率	19.7	29.9	4.9	10.0	30.8	4.7	100

分館活動について

【問1】 分館行事への参加の有無について(運動会、マレット、納涼祭、文化祭など)

	参加している	できるだけ参加	都合がつけば参加	ほとんど参加していない	無回答	計
回答数	41	141	189	359	30	760
回答率	5.4	18.6	24.9	47.2	3.9	100

【問2】 分館の子ども向け行事への参加の有無について(どんど焼き、運動会、子ども広場など)

	参加している	できるだけ参加	子どもが居ないのでわからない	無回答	計
回答数	226	121	335	78	760
回答率	29.7	15.9	44.1	10.3	100

【問3】 分館役員の経験について

	ある	ない	無回答	計
回答数	213	526	21	760
回答率	28.0	69.2	2.8	100

【問4】 問3で「ある」と答えた方におたずねします。経験してみてどうでしたか？

	引き受けてよかった	引き受けなければよかった	どちらともいえない	無回答	計
回答数	115	3	95	0	213
回答率	54.0	1.4	44.6	0.0	100

その理由 別紙2

【問5】 問3で「ない」と答えた方におたずねします。分館役員に推薦されたらどうしますか？

	喜んで引き受ける	推薦されれば引き受ける	理由をつけて辞退する	必要性ないので辞退する	分からない	計
回答数	31	90	64	40	301	526
回答率	5.9	17.1	12.2	7.6	57.2	100

【最終自由筆記】 町公民館、分館町公民館、分館のあり方等についてご自由にお書き下さい 別紙3

箕輪町公民館運営審議会

「これからの箕輪町公民館に関する考え」各委員の意見

・吉崎委員長

町の12月議会の一般質問での答弁に全て出ているのではないかと。荻原議員の質問に対する答弁で「身近な分館の存在・・・」について触れられている。同じく「今後の公民館のあり方について」について触れられている。また「分館へのサポート」についても答弁されている。ただ、分館の方々の負担については軽減したほうが良い。

分館長だけでなく、全ての分館役員の皆さんが懇談する機会、研修する機会なんかも必要ではないかと思う。

・白鳥委員

分館と公民館の組織強化、情報提供、生涯学習人材バンクの登録の活用を行い、町公民館、分館の強化、活性化を行う。

・唐澤(春)議員

分館と本館との関わりが大事であるし、本館がないと分館をまとめることが出来ない。もう少し検討し、生涯学習、教育課などに事業を分けられるものがあるのなら分け、分館の負担を減らす方策を考えた方が良い。

・唐澤(千)委員

公民館は60年の歴史を持ち、それが地域で見たときに「公民館＝分館」として認識されている。分館が長い間に何をしてきたかと言う事を考え、それに代わるものをどう興していくかと考えると時間も必要だし、エネルギーも必要とする。

結果的に、その形を崩しても新しいものを作ったとしても、出来上がったものは、分館のやってきた活動、本館のやってきた活動の何物でもなくなってしまうのではないかと。

ただ、井上委員さんのまとめを見させていただいたが、かつては「健康」という視点ではなく「保健」という視点で行政がその役割を担ってきた。今で言う「健康」という分野においては、公民館がその普及の役割を担ってきた。

そういう時代背景を考えたときに、公民館そのもののあり方を軌道修正したりすることもあるかもしれないが、本筋は今までどおり公民館というものを、しっかり箕輪町の住民の中に再確認させるような形をとっていく方が必要で大事ではないかと。

今までの活動から「いらぬ」ということにはならないのではないかと考える。荻原議員の質問に対して町長は、「予算も必要ならば考える」と答弁しているし、改革も必

要であると考えているが、「存続」させていくという考えでいる。

・中村委員

公民館(本館)と分館は必要だと考えている。ただ、公民館と分館との関わりがそんなに濃くなくてはならないのかと言う事も考えている。分館は独自で活動しているからである。

そんな中で本館、分館を繋ぐ「出前講座」というのは、あか抜けていてよいと考えている。分館ではできない「発想」できないようなメニューを用意頂き提供してもらっていてありがたいと感じる。ただ、大きい分館では、年次計画等が決められ使える場面も限られるが、小さい分館では、かなり有効活用していいものと考えている。

木下では、音楽の夕べなどの講座があり、計画が目白押しであり、出前講座を取り入れると役員負担を増やす事になる。実施に関しては、事業が終わったこの2月などの時期になってしまう。でも出前講座は好評でありありがたい。

分館は独立して実施しているので、予算措置の話も出たが、予算的な縛りなどが発生してしまうと、分館からの反発もあると思うし、あくまで、分館は分館予算で実施していくのが良いと思う。

今現在では、本館と分館との関わりは上手くいっていると感じる。

・荻原委員

箕輪町公民館はS30に条例で設置され、全て国民が豊かで文化的教養等を身につけるために置くとされている。時代の変遷や社会経済の変化により、特に阪神淡路大震災、東日本大震災の後には、地域の防災能力の向上や地域の連帯や絆のあり方などを改めて見直されている。公民館の役割、内容は、複雑化し多岐にわたり要求されていると感じる。

最初に掲げた基本理念等を含め、公民館は生涯学習の場であり、協働のまちづくりの拠点であることに変わりはないと感じる。

山口館長が取りまとめて頂いた内容を修正等を加えることでいいのではないかと感じる。また町長答弁にあったとおり「活力・うるおいあるまのちづくり、地域の連帯、絆をつくり、深め、醸成していく」という言葉が重要になると感じる。

・井上委員

1. 目指すべき姿(公民館は“協働のまちづくり”実践道場より)
 - (1) 子どもから高齢者まで全ての町民が共に支え合う社会の構築
 - (2) 町民の生涯に互る学習活動の支援や心豊かな子どもたちの健全な育成
 - (3) 生涯現役で活力に溢れ人が生き生きと交流する社会の構築
2. 箕輪町の現状と地域課題の把握

- (1) 平成25年度箕輪町公民館アンケート調査より
- ①町公民館の認知度が低い(問1、2、4より)
 - ②各講座の開設を「知らなかった」「必要ない」が多い
 - ③60歳以下の就労層の関心が薄い
 - ④町文化祭については展示の広場の参加者の割合(42.8%)を見れば、概ね良好ととらえたい
 - ⑤大先輩支援事業の将来については、無回答(28.2%)を除いても否定的な回答(39.7%)が多いので一考を要するのではないか?
 - ⑥町公民館の事業は、必要(19.7%)、どちらかといえば必要(29.9%)計49.6%が肯定的にとらえている
 - ⑦分館活動については予想していたよりも前向きにとらえている人が多く存在意義が認められる。ただし役員については負担が大きいので少なくする方向が望ましい
- (2) 平成24年度箕輪町住民満足度調査より(公民館活動と関わりのありそうなことの抜粋)
- ①町が取り組むべき重要施策
 - ア. 高齢者福祉施策の充実(2位 38.2%)
 - イ. 安全・安心のまちづくり(3位 30.9%)
 - ウ. 子育て支援(4位 27.1%)
 - エ. 健康づくりの推進(7位 12.4%)
 - ②「住んでいて良かった箕輪町」にするために大切なこと
 - ア. 住環境(1位 50.8%)
 - イ. 安全・安心な環境(2位 50.5%)
 - ウ. 子育て・教育環境(3位 44.4%)
 - エ. 地域の助け合い(5位 26.4%)
 - ③誰もが健やかに暮らせるぬくもりのあるまちづくり(満足していること)
 - ア. 子育て(1位 74.9%)
 - イ. 健康(2位 53.1%)
 - ④環境に優しく、安全・安心、快適にくらせるまちづくり
 - ア. 災害に強いまちづくり(5位 36.1%)
 - ⑤豊かな文化を育み、次世代を担う人材を育てるまちづくり
 - ア. スポーツ・レクリエーションの振興(1位 42.5%)
 - イ. 芸術・文化の振興(2位 39.2%)
 - ウ. 生きる力を育成する学校教育(3位 37.6%)
 - エ. 図書館の利用(4位 37.2%)
 - オ. 地域に根ざした生涯学習の推進(5位 33.0%)
- (3) 長野県公民館あり方研究会の資料より(平成24年3月提言)

①公民館の首長部局への移管

◇須坂市の例…平成21年4月より公民館が教育委員会から市長部局に移管された。担当する職員は市長部局に所属するが、補助執行として公民館業務も同時に行っている。(地方自治法180条の7)2年経過するが公民館活動、施設利用等に問題はなく効果も報告されている。

②公民館の名称変更(学習センター、地域交流センターなど)への取り組み

◇飯島町

③指定管理者への移行…全国では8.2%あり。現在長野県にはないが長野市では平成22年より住民自治協議会が管理者になることを検討している。飯田市では地域自治組織「まちづくり委員会」の一組織として発足(平成19年より)

④超少子高齢化社会の進展

⑤公民館のカルチャーセンター化

⑥地域課題と向き合わない貸し館業務の増加

⑦長野県生涯学習審議会の答申は「地域コミュニティ再生のためには公民館の役割は大きい」として公民館に期待し、これまで以上の取り組みを求めている。

◇栄村の例…ユネスコ「世界寺子屋運動」

◇CLCアジアの公民館(ベトナム、カンボジア、ネパールなど)へと発展している。

3. 課題解決のために考えられること(= これからの公民館のあるべき姿)

①町公民館の名称・組織を変更することで親しみやすくするとともに認知度を上げたい(生涯学習支援センター、協働センター、など公募も視野に入れる。あるいは、看板の設置などPRの方法を検討し、周知徹底させる方策を考えていく。)

②それとともに現在の町公民館を発展的に解消し、首長部局への移管をすすめることも視野にいれたい。

◇効果的な行政サービス(町が取り組む重要施策と公民館の担っているものが重なっている現状を改める。あるいは、社会福祉協議会や各課が実施している事業とのダブリをなくす。町民文化祭や町内一周駅伝の予算化などの整合性も保てる。)

◇住民と行政の協働・共創、地域資源(人材)を活かす。

◇組織強化が図られ、勤務状況の改善につながるのではないか。

◇分館や地区館活動を重視する状況が生まれ地域再生につながるのではないか。

◆町長は「町公民館と分館・地区館は表裏一体」との考えを明言しているので組織再編へのアプローチが難しい。

③ 分館・地区館はそのまま残すが、できるだけ行事の精選をすすめ、負担を軽くする。町公民館の事業については肯定的にとらえられているので、「今のような公民館はいらない、しかし公民館のようなものはいる」という状況を踏まえて、地域に根ざした運営を構築していきたい。(60歳以下の就労層の参加を促すことにも

- つなげたい) さらに近間の分館・地区館同士が子どもの参加を介して相互の乗り入れを検討するなど具体的な連携を模索し、地域コミュニティの再生を図る。
- ④箕輪町満足度調査をみれば、アンダーラインのような町の課題がみえてくる。公民館の事業や役割とかかわるものがあるので、視野にいれながら活性化に役立てたい。
 - ⑤行政と地域を結び付け持続可能な活動を展開するために、地域人材や団体間の調整を担うなどの専門職員を配置し、多様な町民活動を支えていくキーマンとしたい。
 - ⑥分館運営の経費については各区の実情を精査した上で、町が負担できるかどうか検討し、できれば予算化したい。

・原委員

井上委員さんが書かれたことに関して共通することだか、生涯学習については「持続可能」なものを作り上げ、一時のものではなく、長期持続可能な組織としての公民館が求められると思う。そのためには、計画する人、企画立案できる人、専門的職員の配置など要となる人が必要ではないか。それは職員だったり、それ以外の人が就くことも考えられる。そしてそれを実行するのが分館や町の各部署だと思う。

そういう人材を割り当て、企画立案し長期計画を立てて実行していく組織づくりが重要だと考える。

・小林委員

町公民館は必要だと考え、地域に密着する分館も重要だと考える。私たちが審議しているのは「町公民館をどうするか？」である。町公民館の名称などはともかく、町公民館の実施している内容の中で、10人や20人でやっている講座については、分館に降ろして分館で実施した方が、有効と思えるものもある。

アンケート結果からも高齢者利用が多い中で、地元で展開した方が利用度も高まると思われる内容もある。

町の公民館の役割を検討する良い機会を与えて頂いたので、そんな内容についても見直し、再検討する必要があるのではないかと感じる。出前講座のように地元の人がたくさん参加できる体制を作ることが大事だと感じる。

予算については、町で使っていた予算を出前講座的なものへ手厚く配分し、分館予算については、伝統行事や地元密着の行事に使うというように、上手く町の予算と分館予算をすみ分けすることも大事ではないか。年次計画段階で、この出前講座なども取り入れて有効活用する方策が良いと思う。講師派遣やチラシ作り、講師料の支払い等は町にお願いし、分館はそのサポートに回れば負担も軽減される。

今後の課題としては、町公民館として「大先輩事業」、「子どもに関する事業」も展開されてる。中身については、保健福祉課、子ども未来課と重複する事業もあり、どちらが有効的なのかも踏まえ、選別が必要なものもあるので、事業内容も再検討する必要がある。

あるのではないかと。また町長部局との連携や教育委員会全体での連携が図れば、より一層すばらしい公民館活動が出来るのではないかと。

そして、分館役員はほぼ、ボランティア活動なのでこれ以上負担を掛けないようにすることが重要である。

また、寺子屋的な活動拠点も必要ではないかと考える。文化センター、交流センターでは、日々子ども達が寒い中、暗い中で勉強している。安心して集中して勉強できるような場所を提供できるような取り組みが必要ではないかと考える。

地区館、分館と公民館運営審議会委員の懇談会で出された意見（全体概要）

【事業や運営に関する悩み】

- ・分館役員の仕事が多く、負担が大きい。1時間の練習のために半日休まなくてはいけない。分館役員は高齢者で仕事を頼みにくい場合もあるし、ほとんど出席せず名前だけの人もいる。
- ・会議の数が非常に多い。関係ないと思われる会議でもあらゆる会合に出て行かないといけない。
- ・分館活動資金をカットされたり、区から支援金がないなど運営が大変なところもある。
- ・駅伝大会の時期は敬老会や文化祭などが重なり事務が大変。
- ・世代間の考え方の格差があり、行事などの負担を減らせない部分もある。
- ・若い世代が少なく、何をするにも参加者を確保するのに苦慮している。
- ・組の世帯数の格差が大きく運動会など苦勞している。
- ・寺子屋は八乙女が発祥分館と言われているがあまり知られていない。単に夏休みの宿題をやるだけなら塾にでも行けば良いと思っている。分館活動とのつながりが見えてこない。日程確保が大変。教える人材がいない。
- ・事業の廃止や改善については分館長の権限で突然やめられない。
- ・皆、公民館活動に対して「何かしなくては」という気持ちは持っている。しかし、いざやるとなると「やり方がわからない」「大変」といった問題が出てきてしまう。
- ・町の事業や組織を区へ全て任せてしまっているような気がする。
- ・出前講座は、今以上に増やしてほしいという分館と負担になるのでやらなくても良いという分館に分かれる。司会進行や参加者の手配が負担となる。

【パソコンについて】

- ・パソコン操作のできない役員がおり、フォローする体制が必要では。
- ・区・公民館支援システムは1台のパソコンを区と分館2種類のID、パスワードで使い分けているが、区と分館が対等でなく、なかなか使用できない分館もある。

【アイデアや要望】

- ・各分館で発行している分館だよりを町ホームページに掲載すると他の分館の活動を知る良い機会になる。また役場や公民館のロビーで掲示をするのも良いのではないかと。
- ・沢・大出・八乙女の三館、松島・木下の二館では情報共有の会を行っている。町分館全体での情報交換が必要では。今回の懇談会の意見も全館へ公表をしてほしい。
- ・ニュースポーツやマレットゴルフなど借用物品については物品リストを配布するだけでなく、遊び方や使い方について実演による説明会を行うと有効活用を図ることができる。

のではないか。

- 健全育成の取組は町から区へ丸投げをしているように感じる時がある。どのようにやったらよいかアイデアや具体的な方法、事例なども教えてもらえるとやりやすくなる。
- 16 ミリフィルムによる映写技術講習会は今の時代に合っていないと思う。現在はプロジェクターを使用している。
- 小さい地域から地域全体を巻き込んでいく取組が良い。食べ物関連の事業は効果的。
- 木下は女性の副分館長。
- 地域活性化交付金でなく分館へ直接活動費を納入してほしい。
- 諏訪の花火大会と重なるため、納涼祭の日程を1日前倒したり、餅つき大会は寒くて人が集まらないため、11月に収穫祭として開催するなど前例にとらわれず事業の改善を行っている区もある。
- 区民全員の参加にしたいため、人が集まらない行事はやめ、新しい行事を行っていきたいと考えている分館もある。
- 小布施は「栗の町」須坂は「くらの町」など行政で統一テーマを持って取り組んでいる自治体がある。町公民館は調整役のため、何か統一テーマを持ってやっても良いのではないか。
- 公民館廃止論があると初めて聞いた。確かに大変であるし、面倒くさいが子供たちの教育のためにも公民館活動は残すべき。